

# 高齢者施設における結核早期発見のためのチェックリスト ＜使用方法説明書＞

～入所者全員の結核発病のリスクを正確に把握することが大切です～

## 結核早期発見のための施設の体制チェックリスト（施設用）

- 施設で一部使用してください。
- 施設長や入所者の健康管理の担当が中心となり、現在の施設の体制をチェックしましょう。
- 体制が整っていないところは、随時見直しましょう。
- 1年に1回は見直しを行いましょう。

## 発病リスクチェックリスト（入所者用）

- 入所者1名に1部使用してください。
- 入所者カルテに、はさんでおいてください。
- 看護師が、入所時や、まだ確認を行っていない入所者について、該当部分に、チェックをつけてください。
- 変更や追加があった場合は、その都度、日付を入れてチェック・修正をしてください。
- \* 結核に関する箇所にチェックが多いほど結核発病のリスクが高い状態がわかります。
- \* また、結核だけではなくインフルエンザや肺炎球菌など、他の呼吸器感染症のチェックも同時にできるようになっています。症状が有るときには、結核以外の呼吸器感染症も念頭に入れて観察できるようになっています。

## 毎日の健康チェックリスト（入所者用）

- 毎日、実施している健康観察に加えて、入浴時等を利用して3項目のポイントを看護・介護等入所者に関わる全職員が、注意深く観察していただき、経過が経時的にわかるよう記録してください。現在各施設で利用しているものに追加されても良いと思います。
- 浴室・更衣室にチェックポイントを貼っておくのも良いと思います。
- 3ヶ月に一度は、朝礼・申し送り等の時間を利用し、看護・介護等入所者に関わる全職員に対して、周知徹底をお願いします。
- 異常があれば、看護師に相談する体制をつくっておきましょう。